

2013年1月

あのあこがれの味わいをひとりじめ！
加糖れん乳のような濃厚でコクのある味わいを再現した「森永れん乳シリーズ」から
冬の味覚“いちご味のアイスバー”が新登場！

「森永 れん乳いちごバー」

2月11日(月)より期間限定で発売のお知らせ

森永乳業は、加糖れん乳の甘く濃厚でコクのある味わいをお楽しみいただける「森永 れん乳バー・アイスシリーズ」から、「森永 れん乳いちごバー」(1本売リタイプ)を2月11日(月)より、全国にて期間限定で発売いたします。

「森永 れん乳バー・アイスシリーズ」は、発売から90年以上の歴史をもつ加糖れん乳「森永ミルク」を使用したれん乳のコク・甘さが楽しめるシリーズです。現在、「森永 れん乳バー・アイスシリーズ」は「森永 れん乳氷バー」(50ml×7本)を中心に5品販売しており、ご好評いただいております。

このたび、れん乳の濃厚なコクや甘さとの相性が抜群で、冬に店頭での露出が高まるいちごを組み合わせた「森永 れん乳いちごバー」(1本売リタイプ)を発売し、「森永 れん乳バー・アイスシリーズ」のラインナップを拡充いたします。

「森永 れん乳いちごバー」(1本売リタイプ)は、甘酸っぱさをしっかり感じられるいちご果汁を13%使用しており、れん乳と一緒に食べても、いちごの風味を味わうことができるアイスバーです。

加糖れん乳の定番である「森永ミルク」の牛のキャラクター“ミルリン”をあしらったパッケージデザインを採用しており、現在は「森永練乳プリン モウ〜っと、極あま!」、「森永練乳苺ヨーグルト」、「森永練乳オレ 生クリーム仕立て」などを販売しております。



ミルリン

この牛のキャラクターは、1956年に、当時の「森永ミルク 加糖れん乳」と「森永βドライミルク」(育児用の調製粉乳)の2つの商品に初めて採用されました。

当時はデザイナーがいなかった時代。このキャラクターは画家の方に描いていただいたものです。その後はさまざまな森永乳業の商品パッケージのシンボルとして活躍しています。

そして2012年8月20日(月)、お客さまからの公募により、56年目にしてついに“ミルリン”という名前が決定いたしました。ミルクをたくさん出してくれた牛さんで、首のベルがリンリンと鳴っているイメージからきた、かわいらしい名前です。

<ミルリンのれん乳ファームホームページ> <http://rennyu-farm.jp/>



1. 商品特長

- ① いちごアイスの先端にとろりとしたれん乳ソースを入れたアイスバーです。れん乳の甘さと濃厚なコクとともに、甘酸っぱいいちごの風味をお楽しみいただけます。
- ② れん乳といちごの王道の組合せを手軽に味わえます。
- ③ パッケージには、加糖れん乳「森永ミルク」でお馴染みの牛のマーク“ミルリン”をあしらっております。
- ④ 5月までの期間限定商品です。

2. 商品概要

①商品名	森永 れん乳いちごバー
②種類別	アイスマルク
③包装形態	ピロー包装
④内容量	80ml
⑤カロリー	147kcal
⑥保存方法	要冷凍(−18℃以下)
⑦主要ターゲット	30～60代男女
⑧主要売場	CVS、スーパーマーケット、一般小売店
⑨希望小売価格	120円(税別)
⑩発売日・地区	2月11日(月)・全国
※JANコード	4902720 102223

以上

<参考資料>

「森永ミルク」

加糖れん乳「森永ミルク」は 1919 年に金属缶タイプで発売され、市場の約 60%を占める練乳の定番商品です(数量ベース・金額ベース、2012 年 10 月時点、森永乳業調べ)。

「森永ミルク(チューブ)」は、1985 年に発売し、今年で発売 28 周年を迎えます。

近年は、イチゴ・キウイ・バナナ等のフルーツに加えるだけでなく、かき氷にかけたり、コーヒーに入れたり、パンに塗ったりなどさまざまな使用法が浸透しております。



練乳の歴史

1.練乳の起源は飛鳥時代

日本に牛乳が伝えられたのは飛鳥時代と言われています。牛乳は腐りやすいので、牛乳をそのままではなく、加熱処理をした「蘇(そ)」が天皇に献上されたと平安初期の記録に残っています。この「蘇(そ)」こそが練乳であったと言われています。



2.練乳が広まったのは明治時代

練乳が日本で商品として作られるようになったのは明治時代のはじめから。練乳は牛乳よりも保存しやすく、貯蔵にも便利であったことから、赤ちゃんや子どものための人工栄養ミルクとして使われていました。



3.練乳をつくる会社としてスタート

森永製菓より発売されていた「森永ミルクキャラメル」の原料である練乳をつくるために、大正6年、森永製菓の子会社として日本練乳が設立しました。この日本練乳が森永乳業の起源です。森永乳業は練乳の生産からスタートした会社なのです。



4.大正時代「練乳森永ミルク」発売

1919年に、一般家庭用の練乳として「練乳森永ミルク」(加糖練乳)が発売されました。練乳は育児用の人工栄養ミルクとして広く使用されていましたが、砂糖が多く含まれています。そこで、育児用ミルクとして適した調製粉乳「森永ドライミルク」が1920年より発売されました。

「練乳シリーズ」その他ラインナップ



森永ミルク



森永練乳オレ
生クリーム仕立て



森永練乳ヨーグルト
こくあま仕立て



森永練乳プリン
モウ〜っと、極あま!



森永れん乳
氷バー



森永れん乳
アイスバー

練乳シリーズには、
たくさんの商品があるんだもう。



以上